

使用上の注意

以下の使用上の注意を熟読してから実際の使用を開始してください。

- 当製品はクライミング専用です。
- 当製品は一般家屋内での個人の使用を想定して設計されています。それ以外の目的に使用しないでください。
- クライミングは、危険を伴うスポーツです。
- クライミングには怪我や障害、死亡につながる事故の危険があります。
- 当製品を使用する人は、クライミングと当製品の使用に関する全ての危険を正しく認識し、本人の責任と判断で使用してください。そうでない人は、使用しないでください。
- 当製品は一人用です。

禁止事項

以下の使用方法は絶対にしないでください。重大な事故の可能性があります。

- 水平でない場所での使用。
- 10 ページ目に記載の表通りの組み合わせ以外での使用。
- ホールドへの飛びつき。
- 屋外での使用。
- 複数人での同時使用。
- クライミング以外の用途での使用。

注意事項

- 毎回使用前に本体、テープ、ホールドの異常を点検してください。
- テープは、常にしっかりと張っておいてください。
- 子供に触らせないでください。
- 脚、テープなどに足を引っ掛けないようにご注意ください。
- **ネジの緩み、テープの張り、本体その他の各部分に異常がないかを点検し、常に壁が安定して立っているようにしておいてください。**

【梱包品リスト】

No.	名称	数量	備考
1、2	クライミングパネル	5 枚	パネル1枚につきツメ付きナット22個取付済み
3	骨組み用アングル	4 本	長い
	骨組み用アングル	1 本	短い
4	脚用角パイプ	2 本	細い
	脚用角パイプ	2 本	太い
5	裏側骨組み用アングル	4 個	L40 x 40mm
	脚用アングル①	2 個	L50 x 40mm
	脚用アングル②	2 個	L40 x 40mm
	テープ付き丸環①	1 個	バックル1つ付き
	テープ付き丸環②	1 個	バックル2つ付き
	穴付きテープ	2 本	
	M10 x 40 ボタンボルト	2 本	
	M10 x 50 ボルト	2 本	
	M10 x 60 ボルト	2 本	
	M10 x 25 ボルト	8 本	
	M10 ナット	14 個	
	8mm トラスねじ(+)	39 本	
	M8 ナット	39 個	
	座金	110 枚	
	ゴム脚キャップ	2 個	
説明書	1 部		

【組み立てに必要な道具】

※商品には付属されておりません。

プラス(+)
ドライバー

レンチ 13mm

レンチ 17mm

組み立て方法

脚の組み立て

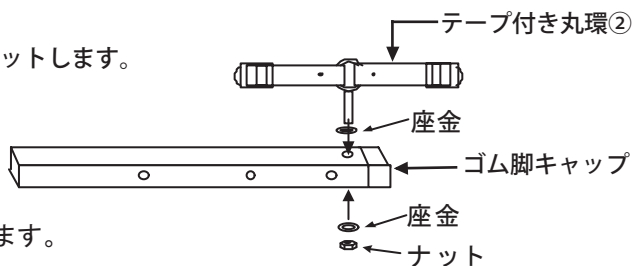
2本の角パイプを組み合わせて、左右の脚を作ります。

まず右側の脚を作ります。

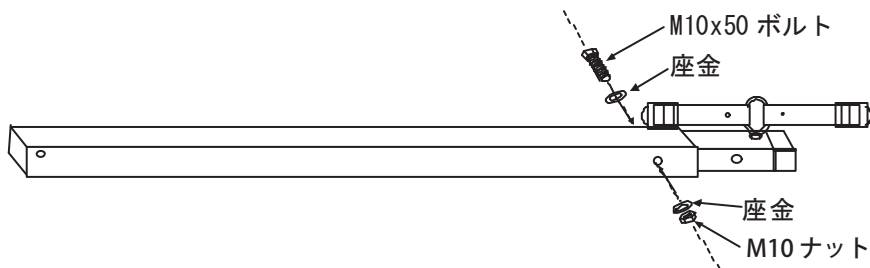
2組の角パイプは同じ物です。どちらを右、左として使っても結構です。

細い方のパイプを引き抜き、ゴム脚キャップをセットします。

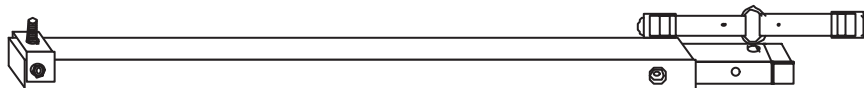
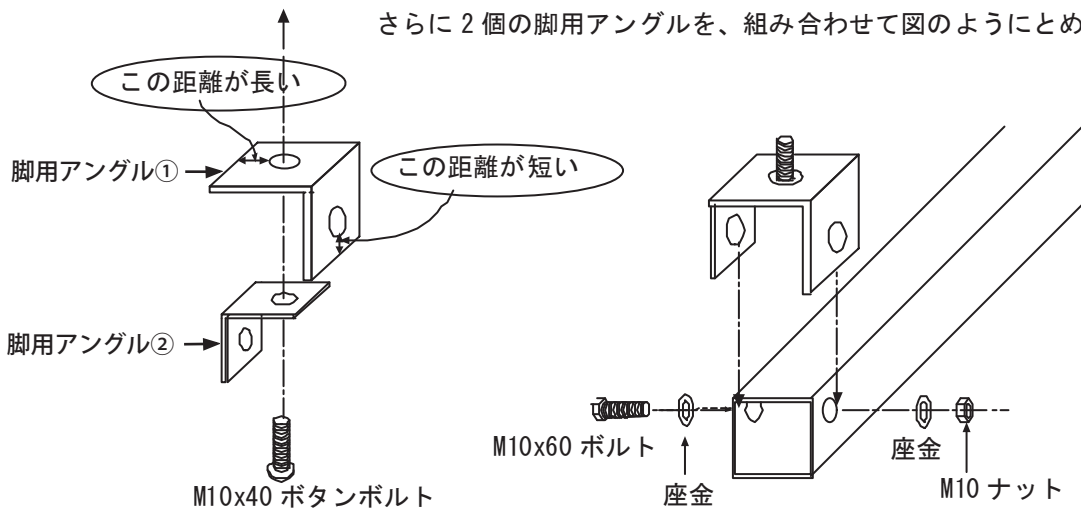
図のようにテープ付きの丸環をセットします。



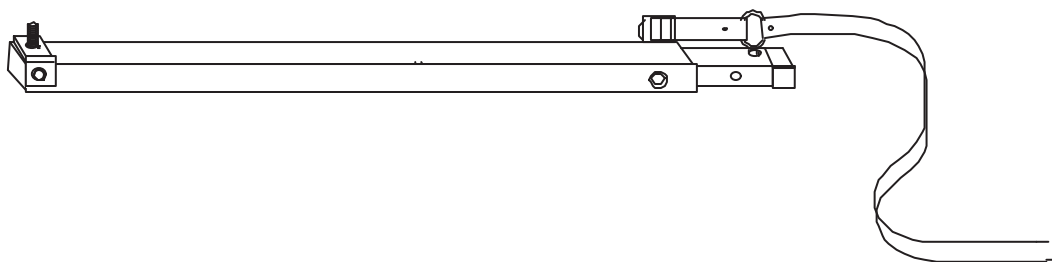
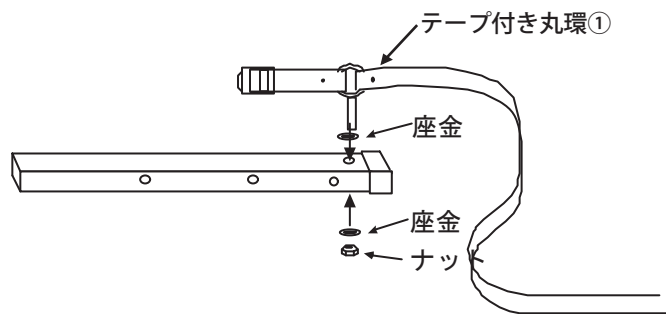
次にそれを太いパイプに差込み、ボルトでとめます。



さらに2個の脚用アングルを、組み合わせて図のようにとめます。



同じように、左側の脚も作ります。

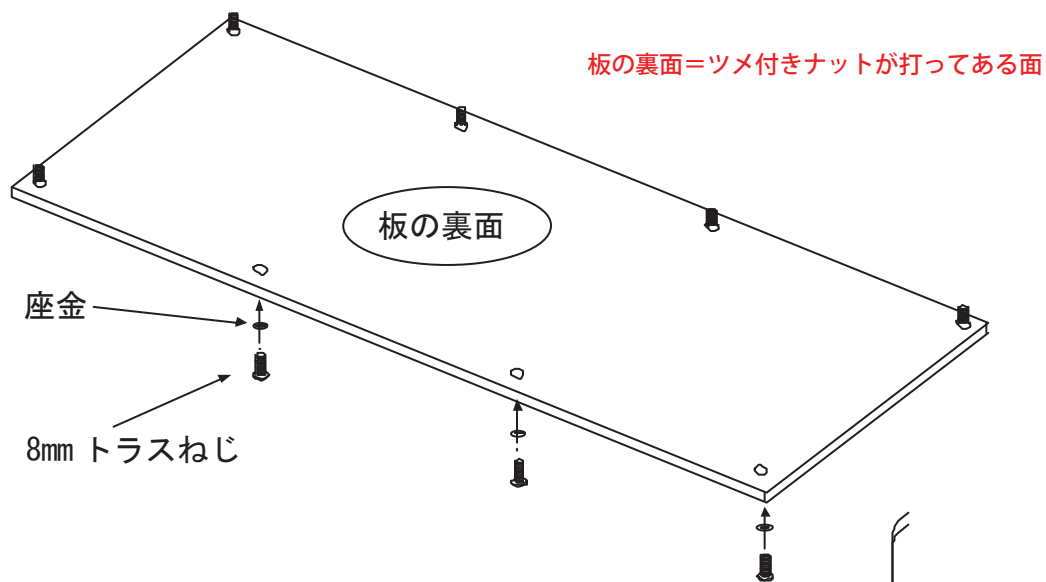


壁面の組み立て

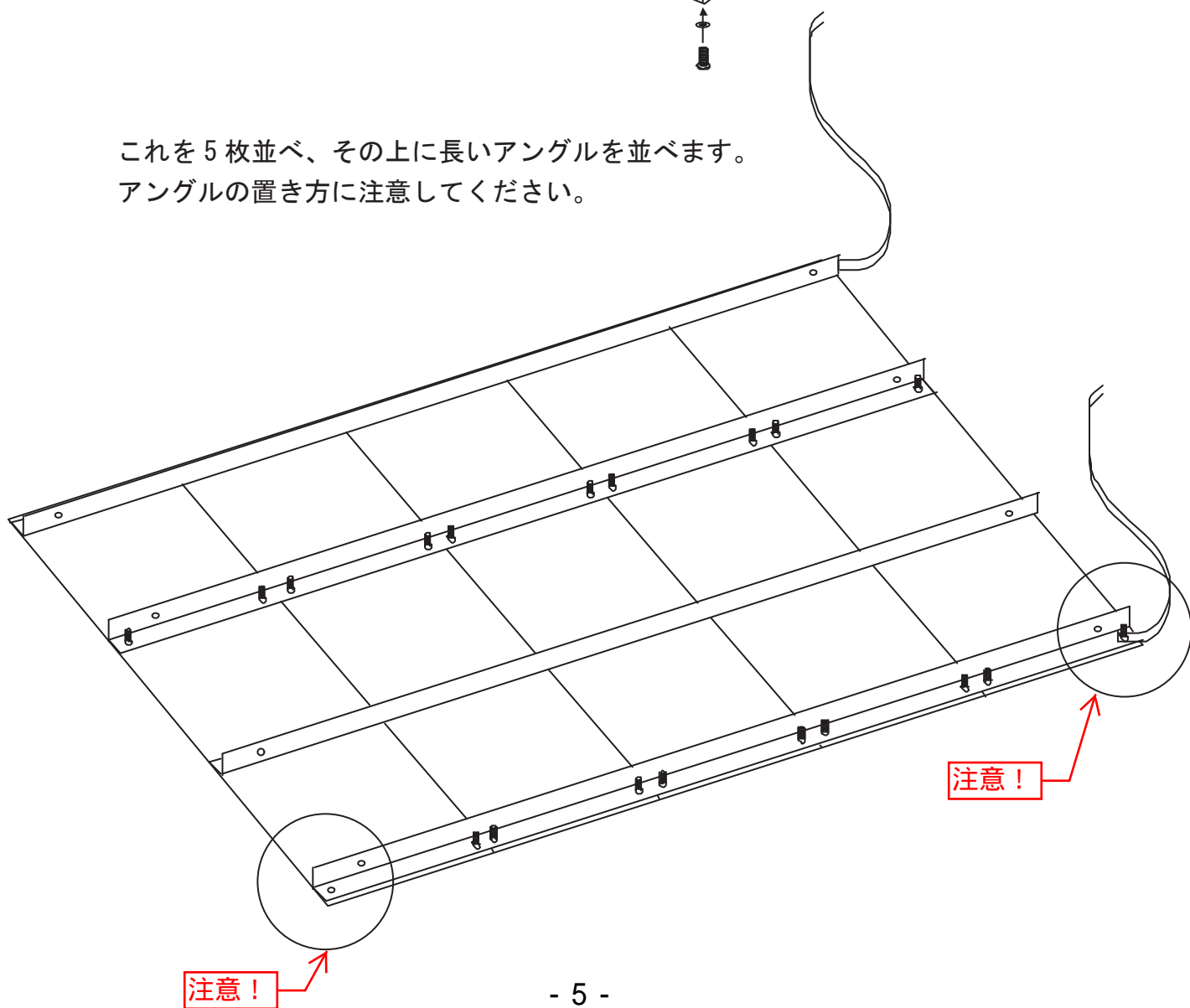
板は全て同じ物で上下の区別也没有ありません。

板を裏返しておき、8箇所の穴に8mmのトラスねじを座金をはさんで通します。

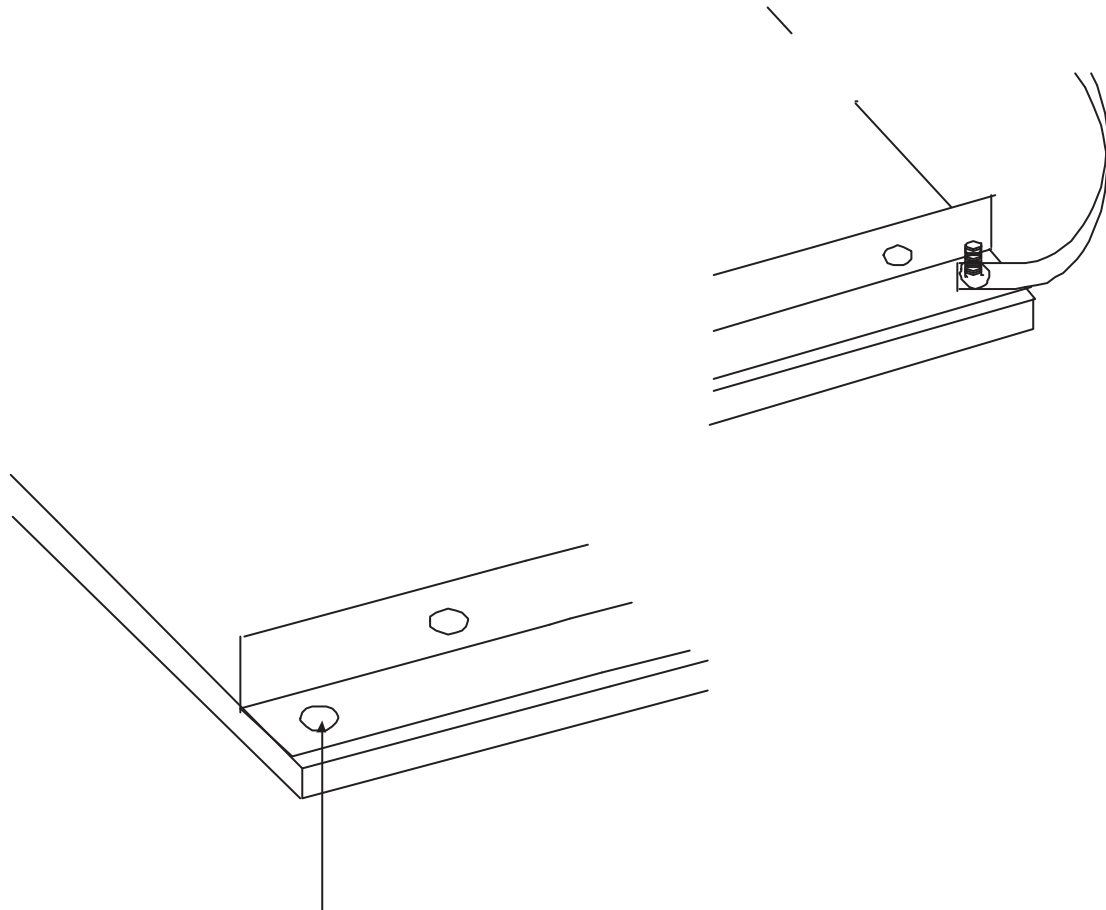
※全て組みあがるまでは、ねじは軽く手で締めておき、最後に工具を使ってしっかり締めつけます。



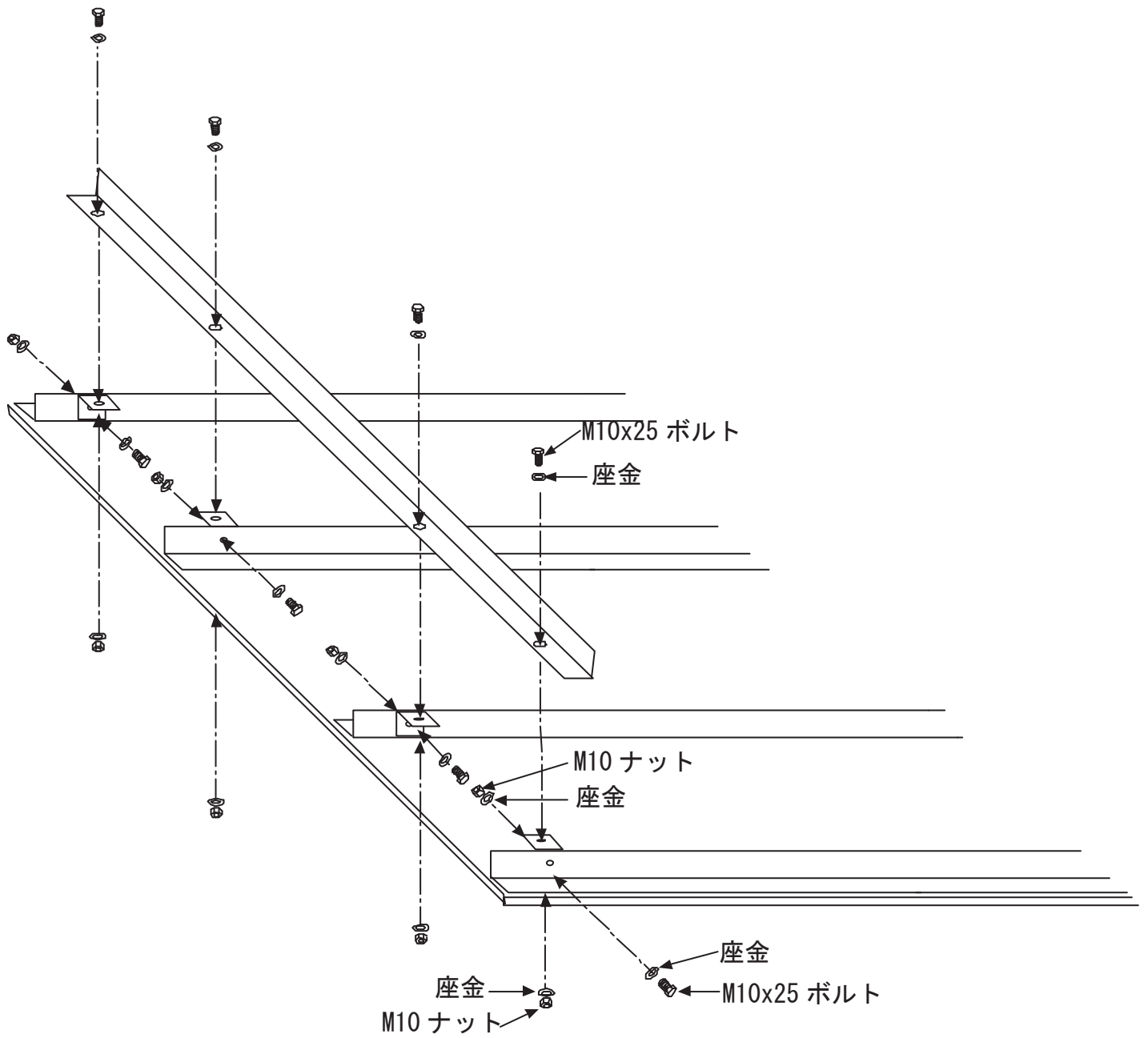
これを5枚並べ、その上に長いアングルを並べます。
アングルの置き方に注意してください。



そして座金を再びはさんで、ナットでとめます。ナットは手で軽く締めおきます。ただし、図のように一番下の左右のねじには、穴付きテープをはさんでとめます。また、一番上の左右のねじには、脚がつくのであけておきます。



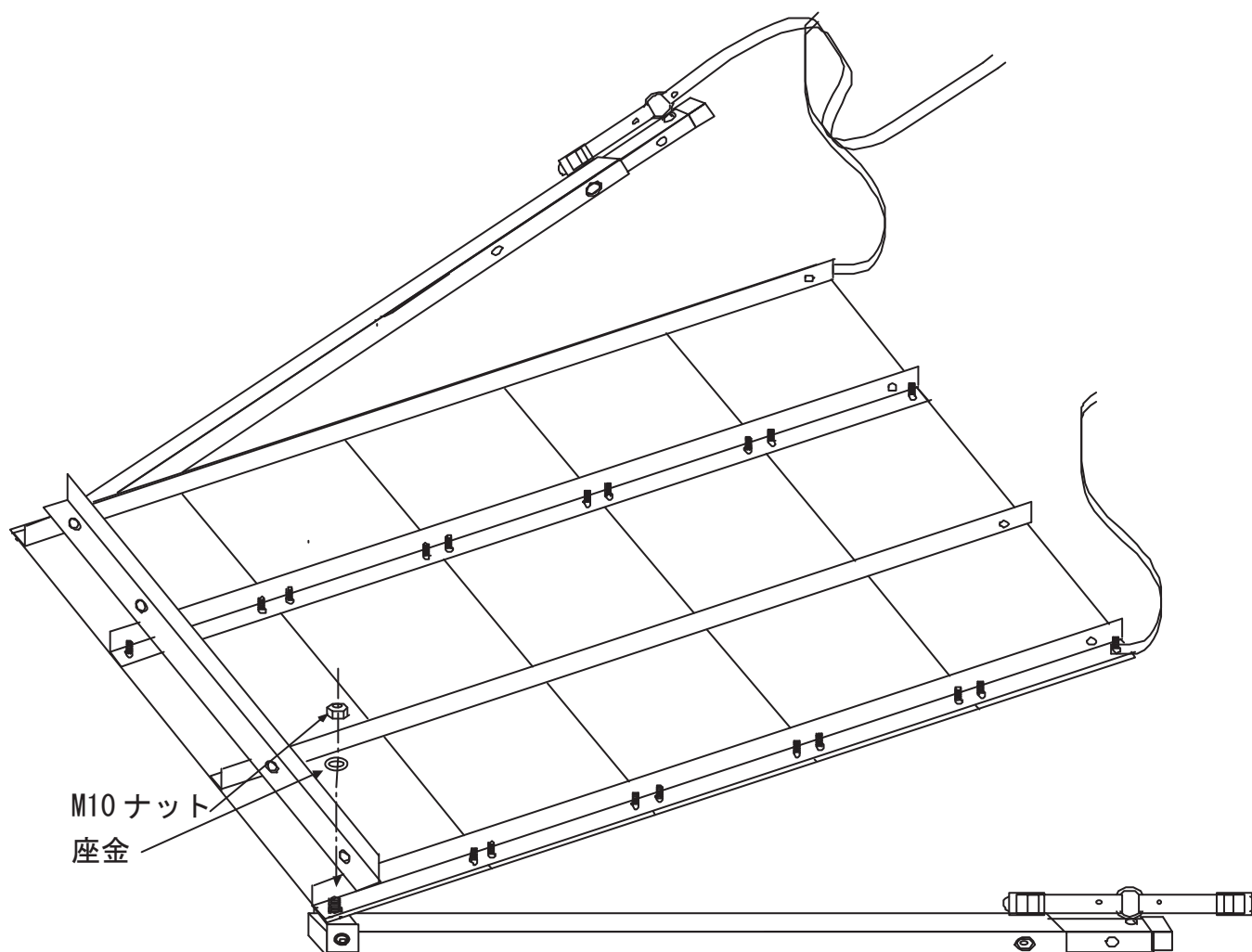
この穴は次に脚を付けるので、今はあけておく。



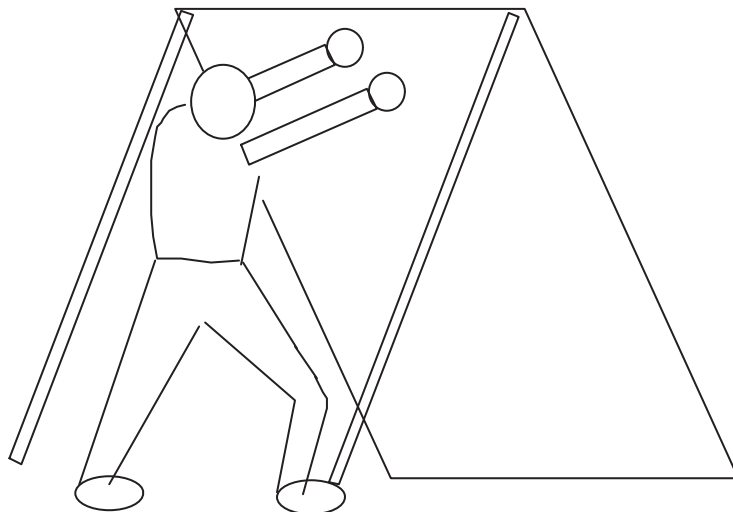
その上に図のように、小さい裏側骨組み用アングルを使って、短いアングルを横に渡してとめます。

脚の取り付け

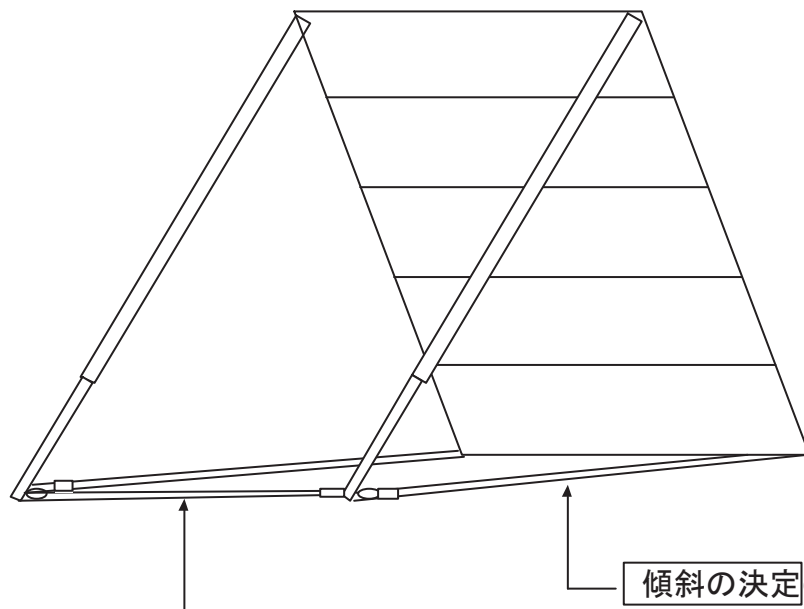
板の端を少し持ち上げ、左右それぞれの脚を板の下に入れてとめます。



全てのねじをレンチ等を使って締めた後、板の最上部を持って引き起こします。



裏側に出た2本のテープを2本の脚のバックルにそれぞれとめ、2本の脚どうしもテープでとめます。



2本の脚どうしの距離は、
壁面より少し広めの2 M くらいにします。

傾斜の決定の表を参照してこの距離を決め
しっかりテープを張ります。

※ねじの緩み、テープの張り、本体その他の各部分に異常がないかを点検し、常に壁が安定して立っているようにしておいて下さい。

傾斜の決定

下記の表を参照して、必ずこの表通りの組み合わせで傾斜を決定し使用してください。

※表以外の組み合わせでの使用は脚やテープに過度の力が加わり危険です。

傾斜 (度)	穴の位置 1 段目 (cm)	穴の位置 2 段目 (cm)	穴の位置 3 段目 (cm)	高さ (cm)
1 1 0	D= 1 7 9			H= 2 1 2
1 1 1	D= 1 8 6			H= 2 1 1
1 1 2	D= 1 9 2			H= 2 0 9
1 1 3	D= 1 9 9			H= 2 0 8
1 1 4	D= 2 0 5			H= 2 0 6
1 1 5	D= 2 1 2			H= 2 0 4
1 1 6	D= 2 1 8			H= 2 0 3
1 1 7	D= 2 2 5			H= 2 0 1
1 1 8		D= 1 8 8		H= 1 9 9
1 1 9		D= 1 9 6		H= 1 9 7
1 2 0		D= 2 0 3		H= 1 9 5
1 2 1		D= 2 1 1		H= 1 9 3
1 2 2		D= 2 1 8		H= 1 9 1
1 2 3		D= 2 2 6		H= 1 8 9
1 2 4		D= 2 3 3		H= 1 8 7
1 2 5			D= 2 0 7	H= 1 8 5
1 2 6			D= 2 1 5	H= 1 8 2
1 2 7			D= 2 2 3	H= 1 8 0
1 2 8			D= 2 3 1	H= 1 7 8
1 2 9			D= 2 3 9	H= 1 7 5
1 3 0			D= 2 4 6	H= 1 7 3

